

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 高齢者の現状と今後の取組について (30分)</p> <p>「鶴ヶ島市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画」は、団塊の世代の方が75歳を迎える平成37年度(2025年度)を見据えて、誰もが安心していきいきと暮らすことのできる地域社会の実現を将来像として策定されております。そして、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・生活支援サービス・住まいの5本の柱が適切に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指しています。</p> <p>さて、本市の高齢化率は平成27年11月1日で24.71パーセントとなっております。この数値は日ごとに上がっています。老々世帯や独居暮らしの方も増加しております。しかし、健康で元気に活動されたり、ご自分の健康管理に気を使われる方も多くいらっしゃいます。このような現状の中、計画の基本方針である、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるようにするには、また、高齢者が自身の持つ能力を十分に発揮し、健康で生き生きと自立した生活を営むためには、さらに、高齢者のニーズに即した多様なサービス体制を構築し、地域で支え合う仕組みづくりを進め、日常生活を支援するには、今後どのように地域包括ケアシステムを構築していくのか、本市の実情に合った取組と今後の方向性について、以下お伺いします。</p> <p>(1) 日常生活圏域ニーズ調査の結果から見えてきたことについて</p> <p>(2) 二次予防事業の取組について</p> <p>(3) 認知症施策の現状と推進について</p> <p>(4) 本市の特性を生かした取組について</p> <p>(5) 地域包括ケアシステムとして、在宅医療・介護の連携体制推進事業をどのように進めていかれるのかについて</p>	<p>市長</p>
<p>2 公共施設等利用計画の今後について (15分)</p> <p>鶴ヶ島市公共施設等利用計画の策定から1年が経過しました。この基本計画に基づき、施設種類ごとの総量抑制のための面積を見直すときは、対象施設、事業の実施年度、財源見通し、不要となる財産の取扱い等の計画、所謂「実施計画」を策定することとなっております。</p> <p>この実施計画については、利用者の安全確保の観点から、構造部標準耐用年数を目安とした更新可能時期までに事業を完了するよ</p>	<p>教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>うに策定することとなっています。本市で最も古い建物は、鶴ヶ島第一小学校及び鶴ヶ島第二小学校の校舎で、建築後45年が経過しています。そのため、最初に学校教育施設の実施計画を策定することとなっています。</p> <p>この度、鶴ヶ島第二小学校地域の保護者や地域の方々から「第二小がなくなると聞くが、いつ頃なのか。なくなるとするのは、本当ですか？」等不安の声があちらこちらから聞こえてきます。現時点では、慎重に調査検討をされていると思われませんが、この、第二小学校のみならず、他の学校を取り巻く地域でも不安の声があると聞いております。そこでお伺いします。</p> <p>(1) 基本計画から実施計画への策定までの工程と今後の見通しについて</p> <p>(2) 市民の不安を解消するための手だてについて</p>	